

飛騨高山

SDGsを原動力とした 「国際観光都市 飛騨高山」の創造



岐阜県 高山市

高山市の地域の特徴



国土のほぼ中央、その名のとおり**高い山**々に囲まれ、いずれの都市圏からも遠く離れた、自然と歴史文化に恵まれたまち

人口約8万5千人が暮らすまちには、国内外から年間500万人近くの来訪者が訪れ、中心部等で活況を呈する一方、地方都市の例にたがわず、市域の大部分では人口減少や少子高齢化が進み、**縮んでいく社会**への挑戦(攻め)と適応(守り)が求められている

当市の現状・課題は、**日本の縮図**を現したものと考える

将来にわたって持続可能なまちづくりを考えるうえでは、まちに関わるあらゆるステークホルダー(市民、事業者、NPO等)と想いや願いを共有したうえで、一緒になって取組むことが欠かせない

連綿と受け継がれてきた歴史・伝統



古い町並



春の高山祭



飛騨春慶



飛騨の家具



飛騨牛

豊かな自然環境



奥飛騨温泉郷



飛騨の新鮮野菜

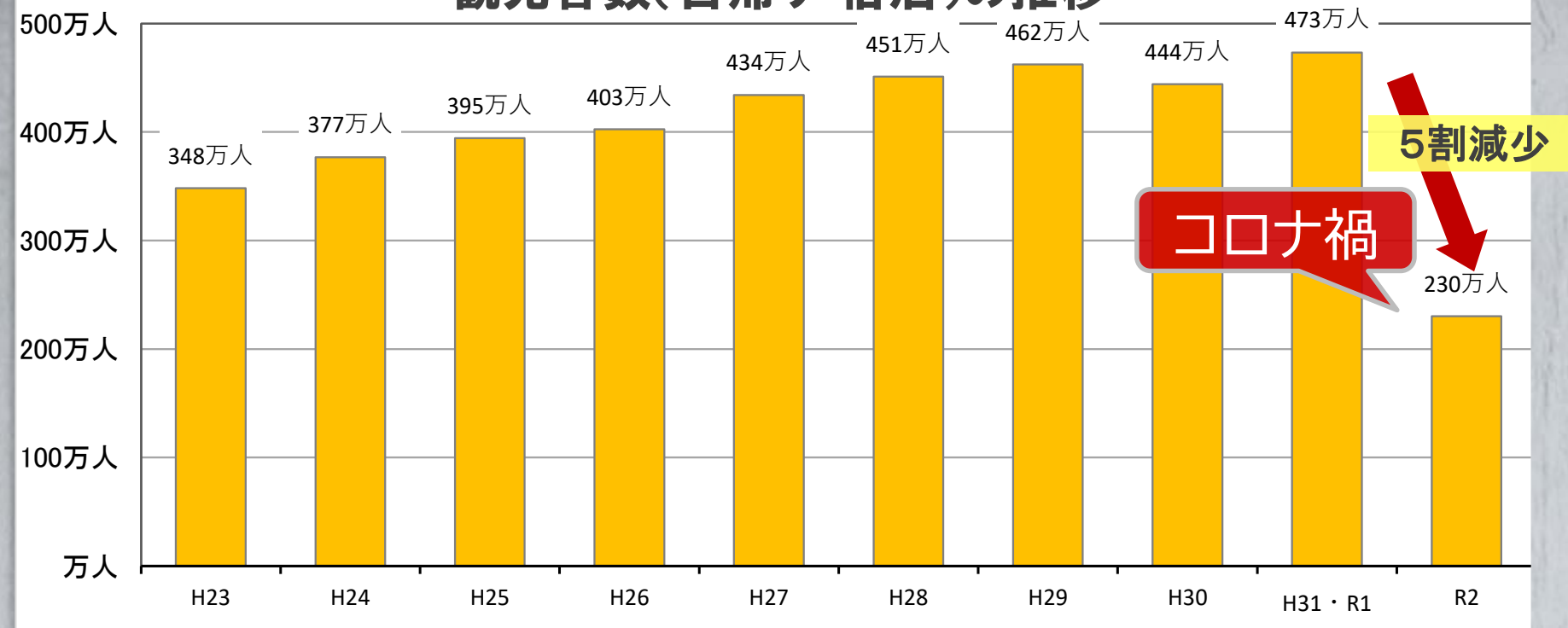


乗鞍スカイライン頂上(畳平)

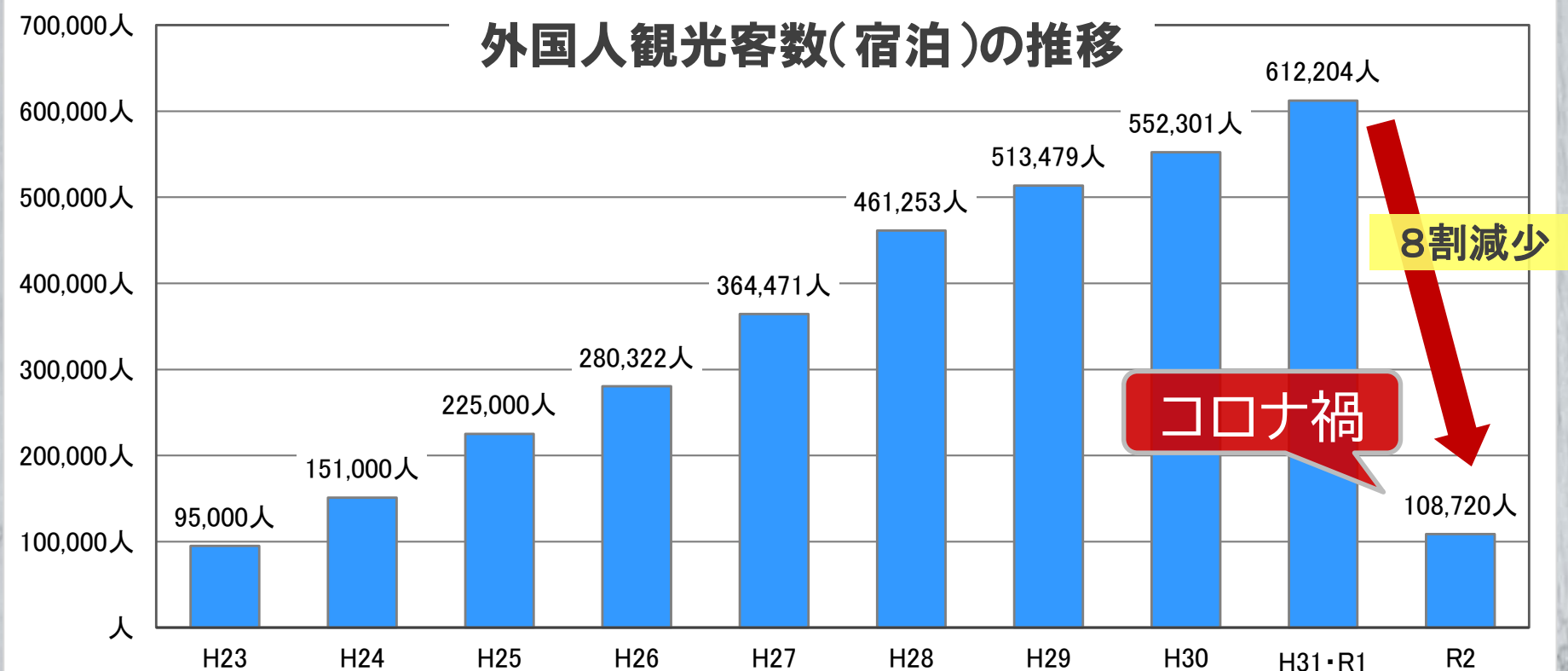
高山市の課題

観光客数が大幅に減少

観光客数(日帰り・宿泊)の推移

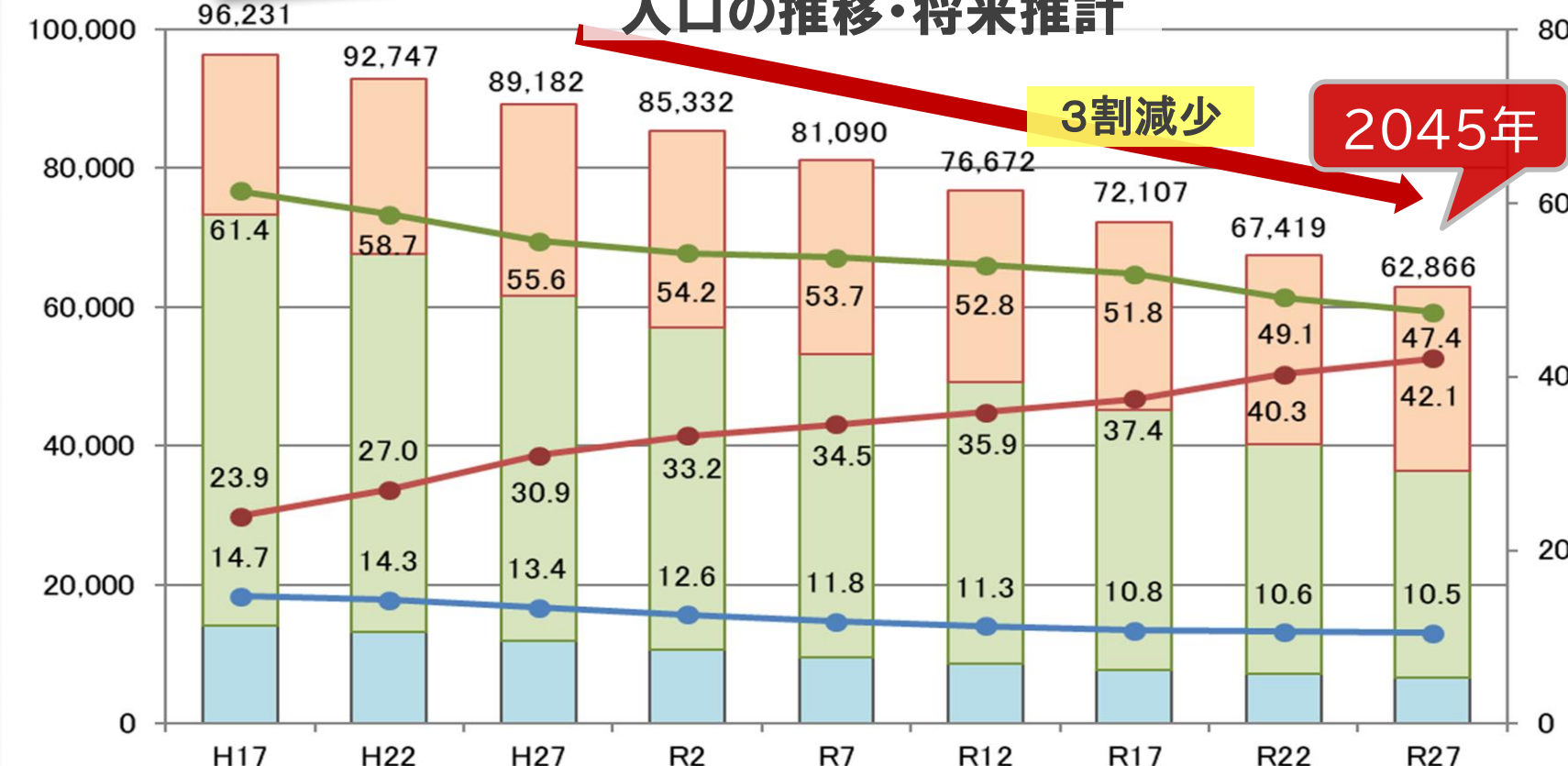


外国人観光客数(宿泊)の推移



急速な人口減少、少子高齢化

人口の推移・将来推計



- 地域の祭礼行事や伝統芸能、伝統技術などの担い手不足が深刻化
- 観光を主軸とした産業をはじめ、地域全体が衰退の危機

国内外から愛され続けるまちづくり(国際観光都市)を目指す

市民の思い

“自分たちが住むまちは、どのような姿が望ましいのか”という市民の思いを尊重しながら、地域に関わる多様な主体が同じ目線に立ち、互いに力を合わせ、将来に向けた取組みを進める。



資源

国内外から注目される豊かな自然資源と歴史的な文化資源を最大限に活かすことにより、地域経済の発展と持続可能性を高める。



経済、社会、環境 の三側面からの取組みの推進

自治体SDGsモデル事業の概要

経済



- 観光まちづくりの推進
 - ・奥飛騨温泉郷エリアの活性化
 - ・民俗文化に親しむ観光拠点の整備
- 飛騨高山ブランドの強化
 - ・メイド・バイ飛騨高山認証制度
 - ・プロモーション推進体制の構築
- 地域循環型経済の構築
 - ・地域経済構造分析の活用
 - ・地産地消の推進

環境



- 脱炭素社会の早期実現
 - ・地域に根差した自然エネルギー活用
 - ・環境基準が国内トップレベルのごみ焼却処理施設整備
- 100年先の森林づくり
 - ・森林の多面的利用の推進（防災強化など）
 - ・カーボンオフセットによる森林整備
- 山岳資源を活かした地域活性化
 - ・中部山岳国立公園の利用促進
 - ・自然との共生モデル（五色ヶ原の森）の構築

社会



- 歴史・伝統の保存、継承
 - ・歴史的な町並みの保存
 - ・飛騨匠の技術・精神の継承
- 夢と誇りが持てる社会の構築
 - ・若者の交流の場の創出
 - ・子どもの夢や創造力を伸ばす学習機会の提供
- ともに支えあうしくみの構築
 - ・協働のまちづくりの推進
 - ・飛騨高山ファンとの連携強化

三側面をつなぐ**統合的取組**

人・自然・文化がおりなす 飛騨高山SDGsパートナーシップの推進

① 戦略的な飛騨高山 プロモーションの展開

郷土愛や地域への愛着の醸成を図るとともに、飛騨高山の魅力・価値について、国内をはじめ世界に対し効果的に発信する戦略的な飛騨高山プロモーションの展開を図る。

飛騨高山プロモーション
戦略部の創設

官民一体による魅力や
価値の磨き上げと情報
発信及び受入体制の強化

- ・官民連携のパートナーシップによる地域資源の魅力、価値（ブランド力）の向上
- ・国内外への効果的な情報発信、誘客及び販売促進
- ・持続可能な観光地として受入れ体制の強化
- ・移住定住、関係人口の増加



三側面をつなぐ**統合的取組**

人・自然・文化がおりなす 飛騨高山SDGsパートナーシップの推進

② 飛騨高山の精神を表現する 交流拠点エリアの形成

国内外から多くの観光客を受け入れる飛騨高山の玄関口であるとともに、公共交通の結節点であるJR高山駅の周辺において、都市機能の充実やまちの魅力向上による交流拠点エリアの形成を図る。

高山駅西地区における
新たなまちづくりの推進

感動と学びそして笑顔
あふれる施設の整備

- ・児童公園や生活利便施設が立地している駅西地区におけるまちづくり構想の策定
- ・文化芸術、福祉など市民生活にかかる交流拠点エリアとして公共施設の整備



三側面をつなぐ**統合的取組**

人・自然・文化がおりなす 飛騨高山SDGsパートナーシップの推進

③ SDGsの積極的展開

SDGsを活かした飛騨高山の魅力や価値、存在感を発信していくため、市民レベルのSDGsに対する理解促進やSDGsを通じた多様なステークホルダーとのつながりの強化など、SDGsの積極的な展開を図る。

飛騨高山SDGsパートナーシップセンターの設置

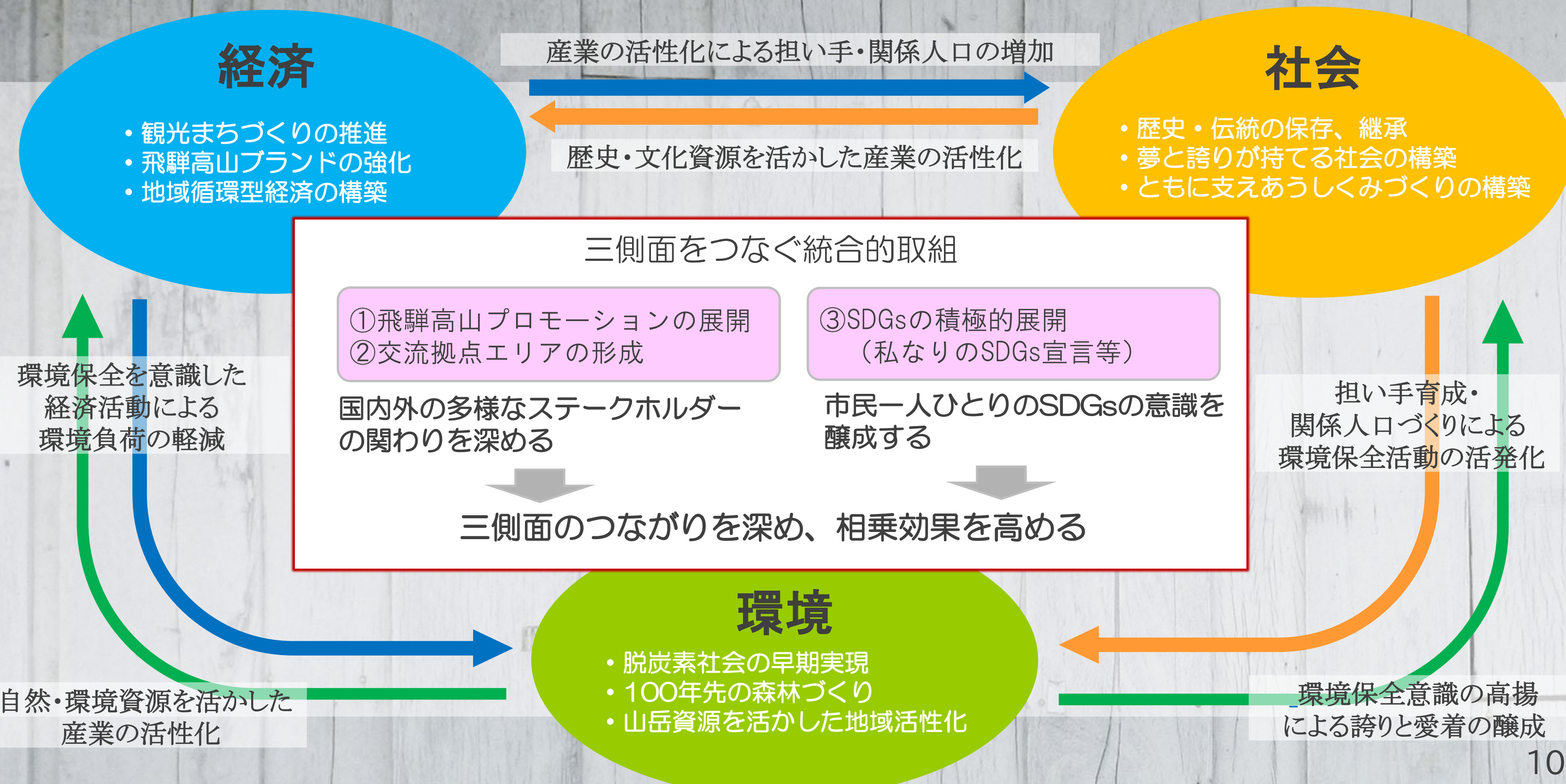


市民による情報発信
「私なりのSDGs宣言制度」の創設

- ・協働・連携による地域課題の解決、新たな発想の創出
- ・SDGsをツールとした国内外への情報発信
- ・国際観光都市としての認知度や情報接触度の向上

- ・市民や団体、事業者などが行うSDGsを意識した活動などを宣言する制度の創設
- ・市民のSDGsに対する理解の深化、SDGsの“自分ごと化”（身近な行動から始められることの認識）

経済、社会、環境の各側面の相乗効果



自律的**好循環**の具体化に向けた事業の実施

地域資源を受け継ぎ、
その価値・魅力を高め、
効果的にアピール

多くの観光客を
呼び込む

交流人口の増加、
働く場を創出

市全体の産業の
活性化

地域資源の保護、
保全、継承に活用

産業の活性化
による収益

持続可能な自走できるまちへ